

持続可能な開発目標(SDGs)入カマニュアル【教員用】

授業インデックスを編集する権限は、“①. ユニット責任者”、“②. シラバス責任者”、“③. ①と②と同じ講座の教員”、“④. 授業担当者”に与えられています。

1. 医学部のトップページから，“eYUME”をクリックしてください。

2. 山口大学に登録しているID, パスワードを入力し, ログインしてください。

3. “基盤医学系科目”又は“展開医学系科目”をクリックし, 該当するユニットを選択してください。

| | | | | | | | | |
|--------------------|------|---------------------------|----|-----|------|------|------------------|-------|
| プロフェッショナル ヨナリズム | 白澤文吾 | 医学入門1 (040001) | 16 | 1 | 白澤文吾 | 桂春作 | 医学教育センター | |
| | | 医学入門2 (040002) | 16 | 1 | 白澤文吾 | 桂春作 | 医学教育センター | |
| | | 医療人類学 | 8 | 1 | 星野晋 | 星野晋 | | |
| | | 行動科学 | 8 | 1 | 崎本裕也 | 崎本裕也 | 神経生理学 | 2生理 |
| | | 医学史 | 8 | 1 | 白澤文吾 | 久永拓郎 | 医学教育センター | |
| | | 医学英語1a | 8 | 2 | 浅井義之 | | システムバイオインフォマティクス | 衛生 |
| | | 医学英語1b | 8 | 3 | 浅井義之 | | システムバイオインフォマティクス | 衛生 |
| | | 医学英語2 | 42 | 4・5 | 石原秀行 | | 脳神経外科学 | 脳神経外科 |
| | | 医療概論・倫理序説 (040032) | 16 | 2 | 白澤文吾 | 久永拓郎 | 医学教育学 | 医療環境 |
| | | 医療安全学 (040089) | 9 | 4 | 高瀬泉 | 姫宮彩子 | 法医学 | 法医 |
| | | 医療安全テュートリアル (040088) | 16 | 4 | 高瀬泉 | 姫宮彩子 | 法医学 | 法医 |
| | | 臨床倫理テュートリアル (040083) | 12 | 4 | 白澤文吾 | 久永拓郎 | 医学教育学 | 医療環境 |

4. (例) “医療概論・倫理序説”のユニットを選択します。

方略 (LS)

1. ユニット構成

日付降順で表示

▶ 講義

| 授業ID | 回 | 年月日曜日時限 | 講義内容 | 担当者 | 場所 | コアカリ番号 |
|-------------|---|------------------------------|---------------|------|-------|---|
| k0400320100 | 1 | 2023年1月10日 (火) 3・4時限 (2年) | 医療倫理総論 | 白澤文吾 | 第1講義室 | A-1-1-*1,A-1-1-*2,A-1-1-*3,A-1-2-*1,A-4-2-*7,B-4-1-*4 |
| k0400321900 | 2 | 2023年1月11日 (水) 3・4時限 (2年) | 臨床倫理総論(1) | 白澤文吾 | 第1講義室 | A-1-2-*2,A-1-2-*3,A-1-2-*4,A-1-3-*2,A-1-3-*3,A-1-3-*4,A-4-1-*3,A-4-2-*1,A-4-2-*2,A-4-2- |

5. (例) “医療概論・倫理序説”のユニットの中の“医療倫理総論”を選択します。

授業インデックス

Teaching index

コース プロフェッショナリズム

ユニット 医療概論・倫理序説

授業内容 医療倫理総論(1)

授業ID k0400320100

講義自己評価

授業インデックス編集

授業内容詳細編集

ユニット概要

次回の授業

授業内容詳細

担当教員 白澤文吾

7. “授業インデックス編集”をクリックしてください。

授業のねらい

1. 生命倫理の必要性を説明できる。
2. 医療倫理の必要性を説明できる。
3. 医師に求められる基本的な資質・能力を説明できる。
4. 倫理と道徳の差違について説明できる。
5. 倫理に関する代表的な宣言等を説明できる。
6. 倫理の代表的な考え方を説明できる。
7. 医学研究における医の倫理の重要性を説明できる。

| | 日本語 | 英語 |
|-------|---------------|------------------|
| キーワード | 医療倫理 | medical ethics |
| | 生命倫理 | bioethics |
| | 知る権利 | right to know |
| | 患者の権利 | patient' rights |
| | インフォームド・コンセント | informed consent |
| | 自己決定権 | autonomy |
| | 医学研究 | medical study |

6. (例)キーワードに**貧困**を記入することとします。

授業インデックス編集

かを説明できる。

Q パレットから選択

生命倫理の必要性を説明できる。
医療倫理の必要性を説明できる。

8. キーワードの“追加”をクリックします。

授業のねらい

医学研究における医の倫理の重要性を説明できる。

キーワード

9. 貧困(17の指標)を記入してください。

| 日本語 | 読み | 英語 | + 追加 |
|-------|----------|-----------------|------|
| 医療倫理 | いりょうりんり | medical ethics | ✕ 削除 |
| 生命倫理 | せいめいりんり | bioethics | ✕ 削除 |
| 知る権利 | しるけんり | right to know | ✕ 削除 |
| 患者の権利 | かんじゅのけんり | patient' rights | ✕ 削除 |
| | | sent | ✕ 削除 |
| 自己決定権 | じこけつていけん | autonomy | ✕ 削除 |
| 医学研究 | いがけんきゅう | medical study | ✕ 削除 |
| | | | ✕ 削除 |

関連授業

10. “確認画面”をクリックしてください。

コース名

ユニット名

授業内容

+ 追加

✕ 閉じる

確認画面 >

授業インデックス編集（確認）



| | |
|-----------|---|
| A-4-2-※-7 | ⑦患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。 |
| B-4-1-※-4 | ④人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。 |

授業のねらい

生命倫理の必要性を説明できる。
医療倫理の必要性を説明できる。
医師に求められる基本的な資質・能力を説明できる。
倫理と道徳の差違について説明できる。
倫理に関する代表的な宣言等を説明できる。
倫理の代表的な考え方を説明できる。
医学研究における医の倫理の重要性を説明できる。

| | 日本語 | 英語 |
|-------|---------------|------------------|
| 医療倫理 | | medical ethics |
| 生命倫理 | | bioethics |
| キーワード | | |
| | インフォームド・コンセント | informed consent |
| | 自己決定権 | autonomy |
| | 医学研究 | medical study |
| | 貧困 | |

11. 貧困(17の指標)が記入されていることを確認してください。

貧困

関連授業

現在登録がありません。

12. “保存”をクリックしてください。

閉じる < 修正 保存 >

持続可能な開発目標 (SDGs) 一覧

| ① | 指 標 | | 目 標 |
|-------|---------|----------------------|---|
| | ② | ③ | |
| SDG1 | 貧困 | (貧困をなくそう) | あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ |
| SDG2 | 飢餓 | (飢餓をゼロに) | 飢餓をゼロに |
| SDG3 | 保健 | (すべての人に健康と福祉を) | あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する |
| SDG4 | 教育 | (質の高い教育をみんなに) | すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する |
| SDG5 | ジェンダー | (ジェンダー平等を実現しよう) | ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る |
| SDG6 | 衛生 | (安全な水とトイレを世界中に) | すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する |
| SDG7 | エネルギー | (エネルギーをみんなにそしてクリーンに) | 手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する |
| SDG8 | 成長・雇用 | (働きがいも経済成長も) | すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する |
| SDG9 | イノベーション | (産業と技術革新の基盤をつくろう) | レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る |
| SDG10 | 不平等 | (人や国の不平等をなくそう) | 国内および国家間の不平等を是正する |
| SDG11 | 都市 | (住み続けられるまちづくりを) | 都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする |
| SDG12 | 生産・消費 | (つくる責任・つかう責任) | 持続可能な消費と生産のパターンを確保する |
| SDG13 | 気候変動 | (気候変動に具体的な対策を) | 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る |
| SDG14 | 海洋保全 | (海の豊かさを守ろう) | 海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する |
| SDG15 | 森林保全 | (陸の豊かさを守ろう) | 森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る |
| SDG16 | 平和 | (平和と公正をすべての人に) | 公正、平和かつ包摂的な社会を推進する |
| SDG17 | 実施手段 | (パートナーシップで目標を達成しよう) | 持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する |